

4 APRIL	5 MAY	6 JUNE
01 FRI	01 SUN	01 WED
02 SAT	02 MON	02 THU
03 SUN	03 TUE	03 FRI
04 MON	04 WED	04 SAT
05 TUE	05 THU	05 SUN
06 WED	06 FRI	06 MON
07 THU	07 SAT	07 TUE
08 FRI	08 SUN	08 WED
09 SAT	09 MON	09 THU
10 SUN	10 TUE	10 FRI
11 MON	11 WED	11 SAT
12 TUE	12 THU	12 SUN
13 WED	13 FRI	13 MON
14 THU	14 SAT	14 TUE
15 FRI	15 SUN	15 WED
16 SAT	16 MON	16 THU
17 SUN	17 TUE	17 FRI
18 MON	18 WED	18 SAT
19 TUE	19 THU	19 SUN
20 WED	20 FRI	20 MON
21 THU	21 SAT	21 TUE
22 FRI	22 SUN	22 WED
23 SAT	23 MON	23 THU
24 SUN	24 TUE	24 FRI
25 MON	25 WED	25 SAT
26 TUE	26 THU	26 SUN
27 WED	27 FRI	27 MON
28 THU	28 SAT	28 TUE
29 FRI	29 SUN	29 WED
30 SAT	30 MON	30 THU
	31 TUE	

# SOJO

VOL.59  
Spring  
2011

## UNIVERSITY INFORMATION MAGAZINE

巻頭特集 崇城大学で育つ就職力!!

### 2011 OPEN CAMPUS

- 第1回 7月24日(日)
- 第2回 8月11日(木)
- 第3回 8月27日(土)

### アイデア求む!

学生編集員も募集!!

- 4コマ漫画
- あなたの目覚まし方法
- あなたの眠気覚まし方法
- あなたの好きな“ふりかけ”メニュー
- インスタントラーメンを使ったアレンジメニュー
- 炊飯ジャーを使った簡単レシピ
- 1分で出来る簡単レシピ
- 材料費100円以下で作れるレシピ
- 読者用プレゼント作品 など

あなたのアイデアを募集しています! (広報課担当/松永)

広報誌編集委員会・広報課  
✉ koho@ofc.sojo-u.ac.jp  
TEL.096-326-3417



- 工学部 機械工学科/ナノサイエンス学科/エコデザイン学科  
建築学科/宇宙航空システム工学科<総合課程スカイエンジニアコース>  
<専修課程航空整備士コース><専修課程パイロットコース>
- 芸術学部 美術学科/デザイン学科
- 情報学部 情報学科
- 生物生命学部 応用微生物工学科/応用生命科学科
- 薬学部 薬学科
- 大学院工学研究科  
<博士後期課程>機械システム工学専攻/応用化学専攻/環境社会工学専攻/  
応用情報学専攻/応用微生物工学専攻/応用生命科学専攻  
<修士課程>機械工学専攻/応用化学専攻/  
建設システム開発工学専攻/宇宙航空システム工学専攻/応用情報学専攻/  
応用微生物工学専攻/応用生命科学専攻
- 大学院芸術研究科  
<博士後期課程>芸術学専攻 <修士課程>美術専攻/デザイン専攻

SOJO  検索 <http://www.sojo-u.ac.jp/>

〒860-0082 熊本市池田4-22-1  
TEL.096-326-3111 (代表) FAX.096-326-3000  
広報誌「がくふう」第59号 発行/2011年3月  
崇城大学広報誌編集委員会・広報課 (koho@ofc.sojo-u.ac.jp)



02 SPECIAL REPORT

崇城大学で育つ就職力!!

07 SERIES

8県人の発見

09 A LABORATORY REVIEW

情報学部 情報学科 吉岡研究室  
生物生命学部 応用微生物工学科 松本研究室

11 TOPICS

「NHK大学ロボコン2011」第一次ビデオ審査を通過  
「熊本県理科・化学教育懇談会総会」を本学にて開催  
「造園学会九州支部大会」を本学にて開催  
「半導体材料・デバイスフォーラム」で大学院生2名が発表  
大学院生が「糸状菌分子生物学コンファレンス」で優秀ポスター発表賞を受賞  
日本物理学会と新学術領域研究の合同シンポジウムで上岡教授が招待講演  
「二科展」に美術学科生の作品が入選  
「飲酒運転根絶」TVCMにデザイン学科生の作品が採用・放映  
薬学科・入学者を「非喫煙者」とする  
SILC christmas party 2010  
資格取得情報

13 SOJO AS IT IS

日本の航空100年記念「飛ぶ〜空へ宇宙へ〜」に人力飛行機を展示

14 ALUMNI

アイシン精機株式会社 須上公一朗さん  
鹿児島大学 大学院 歯学総合研究科 神野真幸さん

15 THE HISTORY OF A PROFESSOR

生物生命学部 応用生命科学科 上岡龍一 教授

16 INTERNATIONAL EXCHANGES

国際交流だより

CLUBS' ACTIVITY

崇城漢方研究会

17 THIS IS MY FAVORITE BOOK

心響の一冊

18 LOCAL AREA COOPERATION

地域との連携

SOJO COLLEGE INFORMATION

崇城大学専門学校からのお知らせ



■表紙アートは、2010年3月に芸術学部・美術学科（日本画コース）を卒業した稲葉未来さん（福岡県・太宰府高校出身）の作品「めぐる」。目には見えない人間の思考回路を形あるものとして平面絵画で表現。悩みや迷いを抱える若者たちの頭上に渦巻く物体は自然界の象徴であり、人体内の三半規管をモチーフにしている。「見えないものを表現し、それを多くの人に理解してもらうことの難しさを実感しました。今なお模索は続いています」と今後の作品づくりにも意欲的。卒業後は働きながら制作に取り組んでいましたが、「色彩を感覚として捉えるのではなく、知識の土台として追求したい」と思うようになり、この春から崇城大学・大学院に進学。「自力で壁を乗り越えられる強い作家になりたい」と熱く語ってくれました。



学生インタビュー  
生野優花さん

巻頭特集 | SPECIAL REPORT

世界を舞台に活躍される大先輩  
味千ラーメン・チェーン本部  
(重光産業株式会社)  
重光克昭社長

学生インタビュー  
松尾剛生くん

# 卒業生に聞く

# 崇城大学で育つ就職力!!

全国大学生就職率  
**77.4%**  
(2011年2月1日現在)

本学工学部の就職率  
**86.7%**  
(2011年3月11日現在)

本学過去3年間の就職率  
2008年 **98.5%**  
2009年 **94.3%**  
2010年 **93.9%**  
(いずれも3月卒業生)

※分母は就職希望者

年商約250億円、社員数約1,000人という中国最大手の日系外食店、国内外約600店の「味千ラーメン」チェーン本部である重光産業株式会社。熊本発祥の同店・同社の重光克昭社長は崇城大学(当時・熊本工業大学)の卒業生。そのパワフルな“人間力”は在学中、いかにして培われたのか。また、厳しさを増した就職氷河期に立ち向かい、めざす企業等への入社を果たした今春卒業生たちは、どのような“就職力”を発揮したのか。「就職に強い!!」という崇城大学の定評の原点を探ります。



熊本名物 揚げニンニクチップ入り豚骨ラーメン



# 世界が舞台!!

## 大学で培った“人間力”を発揮する

味千ラーメン・チェーン本部(重光産業株式会社)

### 重光社長へ直撃5問



重光克昭さん

1987年、崇城大学(当時・熊本工業大学)に入学。在学中は硬式野球部で活躍。1991年3月、卒業と同時に「味千ラーメン」のチェーン展開を開始した重光産業株式会社に入社。海外展開が台北、北京、香港、計5店舗となっていた1997年、創業者(父)の急逝により代表取締役(現職)に就任。以来14年間で「味千ラーメン」を国内外約600店の巨大チェーンのブランド、年商約250億円という中国最大の日系外食企業(合弁)に成長させる。



#### Q3 本学卒業と同時に入社されたのですか?

●創業者は父であり、家業を継ぐつもりでしたが卒業後は一旦、他を経験しようと考えていました。それで**大学で鍛えられたチャレンジ精神を発揮、当時の日本ナンバーワン外食企業を調べて、東京の本社に向き「働かせてください」と志願しました。「熊本から来るとは驚いた。意欲的な学生だ」と評価され、採用内定をいただきました。**ところが父が猛反対。熊本に5店舗ある直営店の1つの「味千ラーメン東パイパス店」で修業を始めました。海外1号店を台湾・台北に出店するのはその4年後です。

#### Q4 本学に進んで「よかった」と思われる点は?

●1997年に父が急逝、28歳で社長になりました。それから今日まで14年間、リーダーを務めてきたわけですが、当社にとって最も大切なのは各国・地域の合弁パートナーをはじめとする“人とのつながり”です。そのため**“人間力”の土台は大学時代、部活に打ち込みつつ積んださまざまな経験によって育まれたと思います。**  
●高校までの身近な人間関係に対して、当時の本学は熊本の私大では稀で**全国各地から学生が集まってきており、その結びつき(人脈)が全国展開をする際に役立ったのは事実。**本学に進んでよかったと思いますし、今あらためて母校を誇りたい気持ちでいっぱいです。

#### Q5 後輩の学生たちに何を期待されますか?

●当社の国際展開や「味千ラーメン」のブランド力向上を担ってくれる人材を母校が輩出してくれたら、とてもうれしいことですね。それには**英語や中国語などの語学力**はもちろん、仕事を楽しく主体的に取り組むために必要な**“好奇心”**を学生の間に磨いてほしい。  
●加えて当社もそうですが、企業が学生に向ける視線は年々厳しくなっています。入社して何がしたいのか、どんな人生が歩みたいのか、**目的意識を強くもつよう**にしてください。それが**“人間力”**となり**“就職力”**につながっていくはず。期待しています!!

#### Q1 味千ラーメンはなぜ中国最大の日系外食企業に成長できたのですか?

●私たちはラーメンを中華料理の一種と思いがちですが、中国の人にとっては“日本料理”なんです。その発想を土台に、中国の人々が最も親しみやすく、安価で美味しさがわかりやすい日本料理として展開したことが成長の決め手になったと思います。  
●なお当社が行っているのは味の核となるスープの原液等を製造、「味千ラーメン」のブランドを管理しつつ現地の合弁企業に供給すること。そのために**必要な異文化適応力やコミュニケーション能力は大学時代に養われたものに他なりません。**

#### Q2 在学中はどのような学生だったのですか?

●工学部・構造工学科(現・宇宙航空システム工学科)の学生でしたが、勉強より部活(硬式野球部)が中心の毎日でした。学業成績は自慢できるレベルではなかったのですが、**教授にはとても親切にしてみえ、試験前などは手厚く指導いただきました。**



生野優花さん

大学院修士課程・デザイン専攻の2011年度2年次生(熊本県・鹿本高校出身)。問題解決能力を備えたグラフィックデザイナーになるのが目標。

#### Voice

●重光社長に「味千ブランドの強さ」について質問した際、「ラーメンの美味しさ」と即答されたことがとても印象的でした。それはデザイナーが忘れてしまいがちなこと。「品質あってこそそのブランド」という基本をあらためて勉強する機会になりました。この経験をブランディング研究の一環として役立てたいと考えています。



松尾剛生くん

生物生命学部・応用微生物工学科の2011年度4年次生(福岡県・山門高校出身)。学科での研究を通じて抱いた発酵への興味から、製パンや酒類のメーカーを第一志望に就職活動中。

#### Voice

●大学で部活(硬式野球)に打ち込まれたことが、その後の“人間力”になったと聞き、感銘を受けました。また大学4年次、当時の「日本ナンバーワン」外食企業から採用内定を得られた実力は“さすが”のひとつ。今後は尊敬する大先輩を見習い、すべてに積極的な自分になろうと決めました。



インタビュー後に学生たちへ自らラーメンをつくってくださった重光社長。今も毎月22日の“感謝デー”には厨房に立たれるなど、その“原点を大切にされる姿”は崇城大学の学風に相通じると感じます。

# 社会へ雄飛!!

## 大学で培った“就職力”を発揮した 今春の卒業生たち

(2011年3月)



建築学科から  
鹿児島市役所へ

**内田 隆夫さん**  
鹿児島 鹿児島高校出身  
●課題の“まちづくり”活動を懸命に取り組んだ結果、自分の長所は忍耐力だと気づきました。それらをアピールすることで、第一志望だった故郷・鹿児島市役所に入職できました。



宇宙航空システム工学科  
総合課程 スカイエンジニアコースから  
株式会社MHIロジテックへ

**佐藤 奈菜さん**  
岡山県 西大寺高校出身  
●就職先は飛翔体システムの整備や部品供給を行うMHIロジテック。「航空関係の仕事に就きたい」という幼い頃からの夢が叶った今、この学科で勉強したことを誇らしく感じます。



宇宙航空システム工学科  
専修課程 航空整備士コースから  
エーエヌエーテクノアビエーション株式会社へ

**藤原 優さん**  
福岡県 筑紫中央高校出身  
●勤務するのは大阪空港を拠点とする全日空系の航空機整備専門企業。受験者200人から採用10数人の難関を突破したので、航空整備士コースの“就職力”が証明できたと思います。

宇宙航空システム工学科 総合課程  
スカイエンジニアコースから



プライムエンジニアリング株式会社へ  
**當間 健理さん**  
沖縄県 沖縄尚学高校出身



九州旅客鉄道株式会社 (JR九州)へ  
**江崎 隆広さん**  
福岡県 大川樟風高校出身

情報学科から



株式会社 エヌ・ティ・ティネオメイトへ  
**島村 英樹さん**  
熊本県 玉名工業高校出身



株式会社 キーストーンへ  
**齋藤 良太さん**  
宮崎県 高鍋高校出身



株式会社 きんでんへ  
**吉村 直道さん**  
鹿児島県 鹿屋工業高校出身



情報学科から  
株式会社エヌ・ティ・ティネオメイトへ

**竹添 智春さん**  
鹿児島県 川辺高校出身  
●自分が将来なにをしたいか、わからない状態でしたが、研究室で社会の厳しさを教わったことが転機に。「ITエンジニアになる」と決めて懸命に学び、就職することができました。



デザイン学科から  
不二ライトメタル株式会社へ

**坂井 睦実さん**  
熊本県 ルーテル学院高校出身  
●当初は興味ある会社に絞って就活していましたが、大学に求人がある企業で「自分にできること」を考えたら視野が広がり、4年間の学びが“就職力”につながりました。



応用生命科学学科から  
株式会社 新日本科学へ

**小牧 翼さん**  
鹿児島県 国分高校出身  
●学部卒から研究職に就けると知った新日本科学を志願。ライフサイエンスに関する自身の実力をしっかり自己分析してアピール。早期に内定をもらった時はうれしかったですね。

機械工学科から



三菱重工業株式会社  
長崎造船所へ  
**瀧本 京平さん**  
熊本県 秀岳館高校出身



三菱重工業株式会社  
長崎造船所へ  
**富田 雄星さん**  
熊本県 東稜高校出身



新日本製鐵株式会社  
八幡製鐵所へ  
**本山 幸照さん**  
熊本県 八代高校出身

エコデザイン学科から



株式会社  
アズマソーラーへ  
**赤木 陽介さん**  
熊本県 熊本農業高校出身



株式会社  
アズマソーラーへ  
**山戸 峻一さん**  
長崎県 長崎北高校出身

応用微生物工学科から



山崎製パン株式会社へ  
**那須 健造さん**  
大分県 大分南高校出身



協和発酵キリン株式会社へ  
**川下 祐太朗さん**  
長崎県 佐世保北高校出身



山崎製パン株式会社へ  
**望月 一馬さん**  
宮崎県 日章学園高校出身

応用生命科学学科から



めいらくグループへ  
**中村 遥希さん**  
静岡県 桐陽高校出身

ナノサイエンス学科から



株式会社  
大阪特殊鋼管製造所へ  
**岩崎 洋平さん**  
鹿児島県 指宿高校出身



株式会社  
日本電気化学工業所へ  
**黒木 直哉さん**  
宮崎県 日向高校出身



株式会社  
えがおへ  
**竹川 和代さん**  
熊本県 第一高校出身

建築学科から



大豊建設株式会社へ  
**吉田 良太さん**  
長崎県 島原工高校出身



株式会社アネシスへ  
**藤井 成生さん**  
熊本県 玉名高校出身

美術学科から



株式会社さわの道玄へ  
**河喜多 祐佳さん**  
熊本県 ルーテル学院高校出身

デザイン学科から



一番食品株式会社へ  
**山下 恵里さん**  
福岡県 三池高校出身



株式会社ヴィジュアルベイへ  
**兒玉 佳恵さん**  
宮崎県 都城工業高校出身

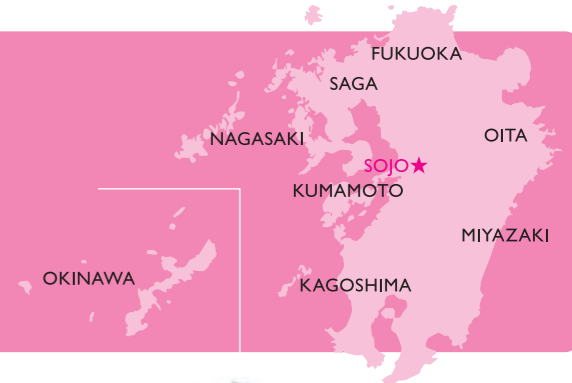
宇宙航空システム工学科・専修課程パイロットコース1期生と薬学科6年制1期生の卒業は来春(2012年3月)です

九州・沖縄

# 県人の発見

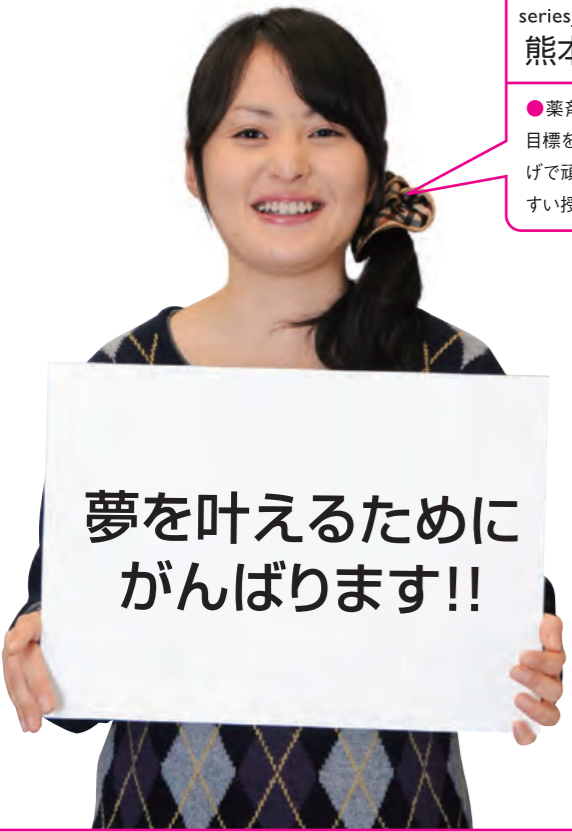
はっけんじんのはっけん

崇城大学生の約90%を占める九州・沖縄8県の出身者。  
 そんな彼女ら彼らがこのキャンパスでの出会いや学びから、  
 どんな夢や目標、新しい自分や故郷への想いを見つけたのか。  
 8県8名の発見を紹介します。



series\_08@01  
**熊本県人**  
 薬学部 薬学科2011年度4年次生  
 松永 泰子さん  
 熊本県 真和高校出身

●薬剤師になるためには学ぶことが多くてハードです。でも同じ目標をもつ仲間との支えあいや先生方の手厚いサポートのおかげで頑張れています。薬剤師国家試験を強く意識した“わかりやすい授業”も崇城大・薬学科ならではの感じています。



夢を叶えるために  
 がんばります!!

series\_08@02  
**福岡県人**  
 工学部 機械工学科2011年度3年次生  
 鳥巢 正洋くん  
 福岡県 三池工業高校出身

●幼い頃から“ものづくり”が大好きでした。高校時代は“技能”に力を入れ、崇城大では“技術”を勉強したいと思い進学しました。ロボット研究会に入部し、仲間と楽しみながらロボットづくりに打ち込む毎日から“好きなことに全力で挑戦”することの素晴らしさを知りました。



好きなことに  
 全力で挑戦!!

series\_08@05  
**長崎県人**  
 芸術学部 美術学科2011年3月卒業  
 今利 美咲さん  
 長崎県 長崎西高校出身

●入学当初は様々な葛藤もありましたが、根気よく制作に励むことで多くを学び、成長できたと思います。仲間でありライバルでもある友人、心から信頼し尊敬できる先生の存在はとても大きく、この出会いに心から感謝しています。



人との交流が  
 私のヤル気に!!

series\_08@06  
**鹿児島県人**  
 情報学部 情報学科2011年度4年次生  
 宇都宮 裕司くん  
 鹿児島県 大口高校出身

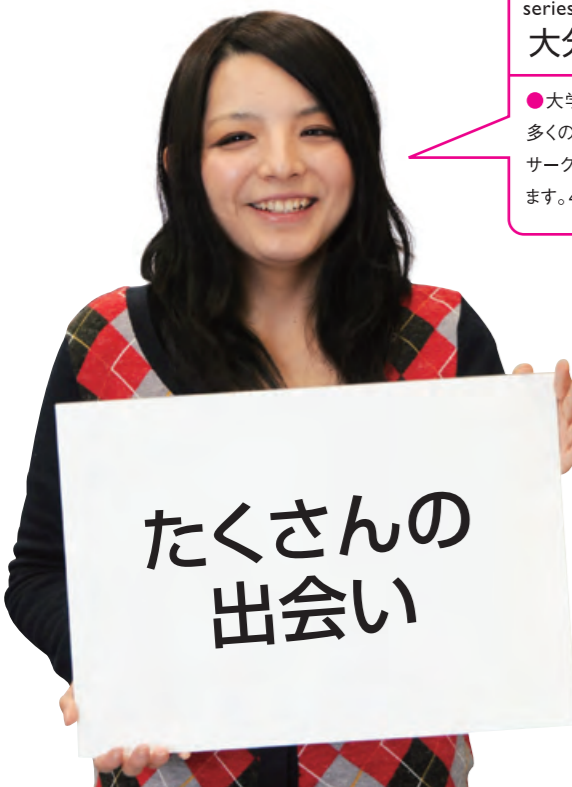
●熊本に来て3年が過ぎ、振り返ってみると様々な経験や出会いをさせてもらいました。最初は戸惑うこともたくさんありましたが、それを乗り越えることで、一生大切にしたい宝物と出会えました。今後も自分だけの大切なものを見つけたいです。



さまざまな  
 経験や出会い

series\_08@03  
**大分県人**  
 生物生命学部 応用微生物工学科2011年3月卒業  
 佐藤 理沙さん  
 大分県 中津工業高校出身

●大学での4年間は本当にあっという間です。高校とはちがって多くの友人ができ、成長できたと思います。そんな友人や先生方、サークルやアルバイト先の仲間たち、すべての方々に感謝しています。4月からは福岡で社会人として今まで以上に頑張ります!!



たくさんの  
 出会い

series\_08@04  
**宮崎県人**  
 工学部  
 エコデザイン学科2011年3月卒業  
 津田 史也くん  
 宮崎県 宮崎農業高校出身

●崇城大への進学を決めるまで、熊本のイメージはほとんどありませんでした。しかし住めば食は美味しく郷土文化も素晴らしく、人柄も親切そのもの。また大学で手厚い支援を得たおかげで就職もできました。九州新幹線も全線開通、“第二の故郷”熊本はさらに発展するでしょう。



“火の国”熊本に  
 感謝!!

series\_08@07  
**佐賀県人**  
 工学部 ナノサイエンス学科2011年3月卒業  
 岩本 亜彩さん  
 佐賀県 唐津西高校出身

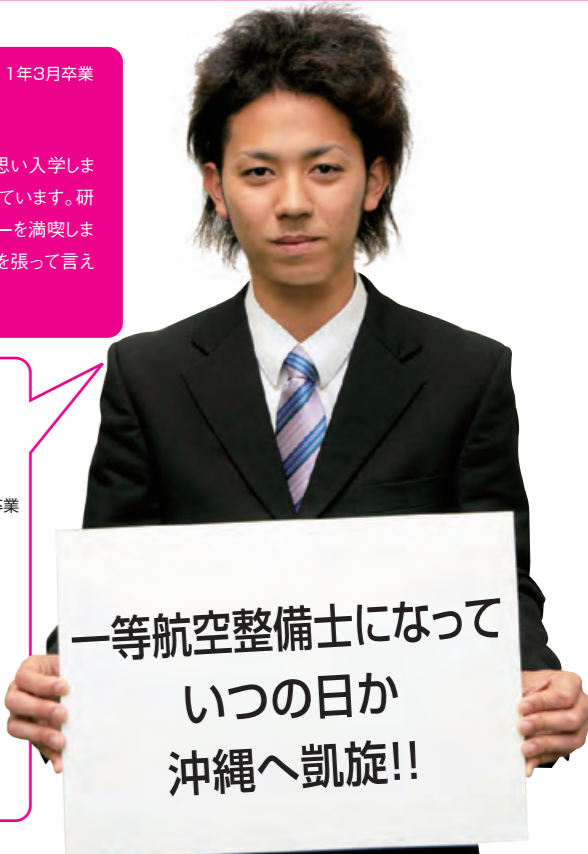
●分析系の仕事が好きで「化学」を勉強しようと思い入学しました。大好きな実験が1年次から多く、とても満足しています。研究室では毎日みんなでランチを食べ、野球やサッカーを満喫しました。そんな崇城大での4年間は「楽しかった」と胸を張って言えます!!



Run!  
 Boys(Girls),run!

series\_08@08  
**沖縄県人**  
 工学部 宇宙航空システム工学科  
 専修課程 航空整備士コース2011年3月卒業  
 金城 和真くん  
 沖縄県 具志川高校出身

●入学前は、県外への進学はとても不安でした。だけど「航空整備士になる」という同じ目標をもつ仲間との寮生活は楽しく、毎日が充実していました。卒業後は整備士として働き、そしていつの日か“一等航空整備士”になって地元の沖縄へ凱旋したいですね。



一等航空整備士になって  
 いつの日か  
 沖縄へ凱旋!!

## “カオス”の性質を情報通信技術へ応用

情報学部 情報学科  
吉岡研究室  
●指導教員/吉岡 大三郎 助教 博士(工学)  
●専門分野/情報通信 離散力学



YOSHIOKA  
Laboratory

学生にきく



情報学部 情報学科2011年3月卒業  
岩崎 諒くん  
熊本県 八代南高校出身

### 自身の研究テーマは?

●「マルチキャリアDS-CDMAのピーク電力対平均電力比(Peak-to-Average Power Ratio; PAPR)の測定」です。PAPRが高いと携帯電話やスマートフォンなどの移動通信端末のバッテリー消費が激しく、長時間利用するのに適さないという問題があります。そこでPAPRを測定、その低減化を目指して日々研究しています。

### 研究室の雰囲気は?

●ゼミ生みんなで雑談したり、時間があるときは学外で一緒に食事したり、雰囲気はとても和やかです。また研究室の設備はとても充実していて、専用のPCが1人1台あり、プリンタや参考文献なども揃っています(息抜きに欠かせないベッドにもなるソファや冷蔵庫まであります!!)。そのような素晴らしい環境の中で研究をしています。

### 吉岡助教はどんな先生?

●とても真面目で研究熱心な先生です。しかし研究時以外の先生はいつも笑いが絶えません。私たちと歳が近いこともあり「お兄さん」的な存在です。また先生が海外へ出張に行かれた際ですが、私たちに事前連絡を忘れるような「超天然」な一面もあります(笑)。



●そのようなカオスのデジタル化の議論をふまえて、現在取り組んでいる応用技術は①「通信エラーを抑え、かつバッテリー消費も抑えられる高速ワイヤレス通信技術の構築」、②「セキュリティやシミュレーションで必須となる長周期の擬似乱数生成」、③「解読困難なカオス暗号の実装」の3テーマです。

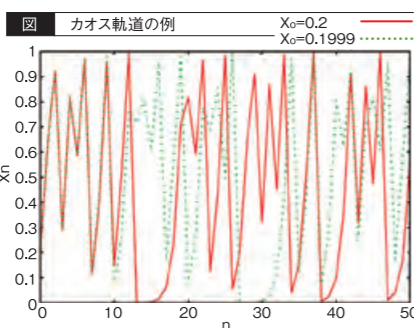


図 カオス軌道の例

●方程式に基づく不規則で予測が難しい現象を「カオス現象」といいます。図は簡単な2次方程式  $y=4x(1-x)$  から得られる複雑なカオス軌道の例です。このカオスの性質を情報通信技術へ応用する研究を行っています。

●情報通信技術の主流はデジタル方式ですから、応用の前にカオスのデジタル化についてきちんと考える必要があります。方程式で扱う数に制限はありませんが、デジタルの世界ではビット数で制限され、扱う数に限度があります。無限の数の世界で見られるカオスを、有限のデジタルの世界に持ち込んだ時にどのような性質が成り立つかを解明していきたいと思っています。



### 2010年度の主な活動

- 7月/タイで開催された国際会議「ITC-SCSC」にて「Numerical evaluations of autocorrelation of maximum length sequences derived from discretized chaos maps」を講演発表
- 9月/熊本大学で開催された電気学会電子・情報・システム部門大会にて「離散化区分解線形写像から得られる最大周期系列の自己相関特性」を講演発表
- 10月/台湾で開催された国際会議「ISSSTA」にて「A construction method of maximum length NFSR sequences based on linear equations」を講演発表

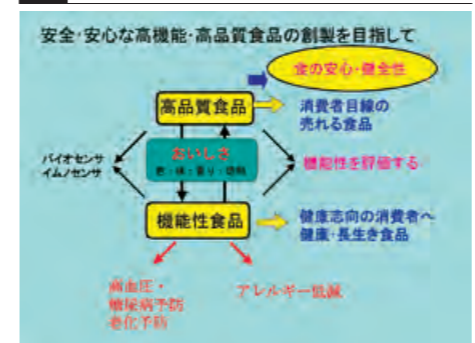


MATSUMOTO  
Laboratory

## 安全・安心な高機能・高品質食品の創製をめざして!!

- 食中毒、環境ホルモン、食物アレルギー、残留農薬など食を取り巻く脅威は依然と続いています。これらの問題に対処するため、安全・安心を確保する高感度検出系の構築を進めています。一方、老化予防、高血圧予防、糖尿病予防など食品成分による健康維持効果も次第に明らかになりつつあります。これらの健康に寄与する食品成分の検出と健康食品設計を行なっています。
- 具体的には、食物アレルギーを起こすタンパク質(アレルゲン)を迅速・高感度に検出するため、免疫反応を利用したセンサの開発とアレルギーを起こさないための食品処理、すなわち酵素によるアレルゲン分解による低減化を精力的に行なっています。

図[1] 安心・安全をめざした高品質・高機能食品開発のコンセプト



●健康食品開発では、老化予防の観点から抗酸化作用を持つ成分を多数の食品素材から見つけ、健康食品に結びつける研究、糖尿病予防、高血圧予

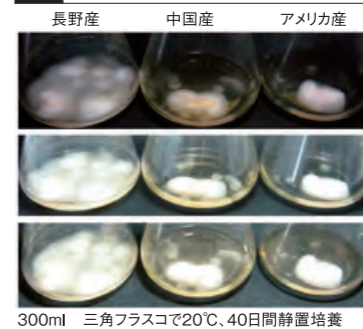
### 2010年度の主な活動

- 9月/日本食品科学工学会第57回大会(東京)で「水溶性テトラゾリウム塩を用いる微生物検出について」を発表(福岡工技センター・DOJINと共同)
  - 9月/日本農芸化学会九州支部大会(熊本・崇城大)で安定同位元素標識LC/MS/MSによる血漿からのペプチド検出について発表(九州大と共同)
  - 11月/第28回YEAST WORKSHOP(福山)で発表
  - 12月/日本食品化学会誌に「ドクダミの抗酸化成分について」を掲載(国立衛研と共同)
- ※試料分析講座第8巻「食品分析」を編集・執筆中(2011年9月に丸善より出版予定)

防に繋がる食品成分の検出と作用機構の解明を行なっています。特にマツタケやその他のキノコの機能性に力を入れています。

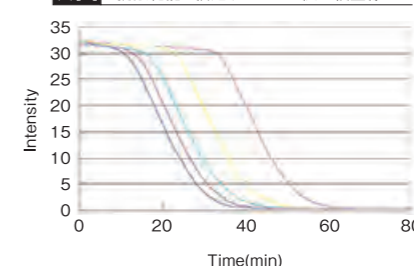
●酵母をモデル生物とした真核生物の分子遺伝学の研究も行っています。

図[2] マツタケ菌糸の液体培養



300ml 三角フラスコで20°C、40日間静置培養

図[3] 抗酸化能を測定するORAC法の検量線



学生にきく



生物生命学部 応用微生物工学科  
松本研究室  
●指導教員/松本 清 教授 農学博士  
●専門分野/食品分析学 食品機能学 食品生物科学



生物生命学部 応用微生物工学科2011年3月卒業  
上野 賢史くん  
栃木県 茂木高校出身

### 自身の研究テーマは?

●「DPPH法による抗酸化食品素材の検索」です。生活習慣病や老化予防に効果があるといわれている抗酸化食品について、抗酸化性が期待できそうな食品の分析を行い、新規に抗酸化性がある食品を見つけることを目標としています。

### 研究室の雰囲気は?

●遊ぶときは遊び、やるときは徹底してやる学生が集まり、互いに協力しながら実験を進めています。学生はさまざまな県から集まっており、地元のお土産を持ち寄りして親交を深めています。

### 松本教授はどんな先生?

●いつも笑顔の温和な先生です。食品分析のエキスパートであり、学生一人ひとりに対して、しっかりアドバイスや指導をしてくだ

さいます。また壊れた椅子を工具で修理されるととても器用な先生です。



# TOPICS

※記載の学生年次はすべて2010年度です

詳しくはホームページに掲載中 <http://www.sojo-u.ac.jp/>

## 機械工学科

### 「NHK大学ロボコン2011」 第一次ビデオ審査を通過

機械工学科の学生を主に構成するロボット研究会が「NHK大学ロボコン2011～ABUアジア・太平洋ロボコン代表選考会」の第一次ビデオ審査に合格した。6月の全国大会へ出場するには4月中旬の第二次ビデオ審査を通過しなければならない。今年度の世界大会はタイで開催され、歴史ある「川の女神に感謝する伝統行事」をモチーフにした競技が行われる。現在、ロボット研究会部員一同は、昨年に続いて全国大会へ出場するべく、夜間や休日を問わずロボット製作に組んでいる。



\*ロボット研究会ホームページ

## ナノサイエンス学科

### 「熊本県理科・化学教育懇談会総会」を本学にて開催

2010年10月17日、西田正志准教授の世話役により「熊本県理科・化学教育懇談会」第14会総会を本学にて開催した。同会は日本化学会九州支部化学教育協議会の下部組織として、化学教育に係わる各種事業の開催や支援、化学教育に関わる会員の情報交換と相互支援を行っている。本学の「テクノファンタジー2010」では後援として、ナノサイエンス学科の出展に補助をいただいた。総会では熊本大学、高等学校、熊本県教育庁、本学からの関係者20名が参加。化学教育や大学と高等学校の連携、全国高校化学グランプリに関して活発な意見交換が行われた。

## エコデザイン学科

### 「造園学会九州支部大会」を本学にて開催

2010年11月27日・28日、本学で日本造園学会九州支部大会が「かなたの自然と身近な共生空間」を支部統一テーマで開催された。平成22年度は九州新幹線全線開通を記念すると共に、平成24年度の熊本市の政令都市移行をふまえて「都市の品格と造園まちづくり」をテーマに九州・沖縄各県の産・学・官の造園関係者が集った。1日目に研究・事例報告会、パネル展示、みどりの市民講座、養茂寿太郎・熊本県立大学理事長を講師とする基調講演「ランドスケープ遺産と地域づくり～九州での可能性は如何に～」、パネルディスカッション「九州のランドスケープ遺産と地域づくり」等が行われ、2日目にエキスカッションが実施された。研究者・実務者に市民の方も含め、述べ参加者数511名と盛会。本学からはエコデザイン学科の**天本徳浩准教授**がパネリストとして参加した。

## 情報学科

### 「半導体材料・デバイスフォーラム」で 大学院生2名が発表

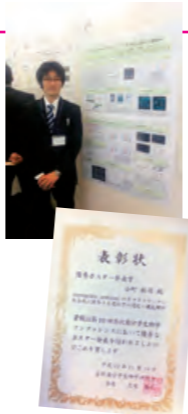
2010年12月11日・12日、熊本市・アークホテル熊本で行われた第2回「半導体材料・デバイスフォーラム」で**柿木研究室**の大学院修士課程電気・電子工学専攻1年次生の**福田喜文**さん(熊本県・御船高校出身)と情報学科4年次生の**井立大輔**くん(熊本県・天草高校出身)がポスターセッションによる発表を行った。二人ともはじめてのポスターセッションなため緊張が感じられたが、無事に発表を行った。また情報学科の**柿木稔男**助教による「パワー半導体デバイスを用いた省エネルギー形磁気浮上装置の開発」をテーマとする講演も行われた。



## 応用微生物工学科

### 大学院生が「糸状菌分子生物学コンファレンス」で 優秀ポスター発表賞を受賞

2010年11月18日・19日、広島大学・東広島キャンパスのサタケメモリアルホールで行われた第10回「糸状菌分子生物学コンファレンス」で大学院修士課程・応用微生物工学専攻2年次生の**小町裕司**さん(大分県・佐伯鶴城高校出身/応用微生物学講座・**野村善幸**教授と**岡拓二**准教授が指導)が「*Aspergillus nidulans*のガラクトマンナン生成に関与する遺伝子の同定と機能解析」について研究発表を行い、優秀ポスター発表賞を受賞した。



## 応用生命科学科

### 日本物理学会と新学術領域研究の合同シンポジウムで 上岡教授が招待講演

2010年9月23日から26日、大阪府立大学で日本物理学会と新学術領域研究「揺らぎが機能を決定する生命分子の科学」との合同シンポジウムが開催された。シンポジウムでは応用生命科学科の**上岡龍一**教授が「膜の揺らぎが関与する制がんメカニズム」と題して招待講演を行った。正常細胞とがん細胞の物性の違いを認識してがん抑制効果を示す、ハイブリッドリポソームの新しい制がんメカニズムに物理学者からも大きな反響が寄せられた。



## 美術学科

### 「二科展」に美術学科生の作品が入選

2010年秋、第95回記念「二科展」が東京・新国立美術館で開催され、絵画部門(総数3007点)に美術学科洋画コース2年次生の**西夏希**さん(熊本県・ルーテル学院高校出身)が入選した(入選689名)。また、第95回記念「二科展」熊本巡回展が熊本県立美術館分館で3月23日から4月3日まで開催される。



## デザイン学科

### 「飲酒運転根絶」TVCMに デザイン学科生作品が採用・放映



飲酒運転の根絶と高齢者の交通事故防止をテーマに県が公募したテレビCM用作品計137点から、飲酒運転根絶の部にデザイン学科2年次生の**千綿美美**さん(宮崎県・延岡高校出身)の作品がイラストレーションポスター最優秀賞に輝いた。ポスター等で広報されると同時に2010年12月1日から2011年1月31日までテレビ熊本(TKU)にて放映された。

## 薬学科

### 入学者を“非喫煙者”とする

喫煙が健康に悪いことは紛れもなく、喫煙者の多くが害を知っていても吸い続けるのはニコチン依存症という病気のためである。他者に対しては受動喫煙を通しての加害者でもある。1日20本のタバコを吸うと年間500mlのタールが身体に入る(写真参照)。薬学部内は禁煙であるが1カ所、除外地区を設けているため受動喫煙は続いている。受動喫煙を徹底的に止めるため、新入学生を非喫煙者とし、在学者には禁煙支援していく。



## SILC

### Christmas party 2010

2010年12月22日、SILC(Sojo International Learning Center)でクリスマスパーティー2010が開催された。企画・運営・司会に学生が携わり、進行はすべて英語。約150名の参加があり、ダンスサークル、吹奏楽サークルによるパフォーマンスや抽選会が行われた。



## 資格取得情報

### 平成22年度 技能検定 機械加工(普通旋盤)合格者

- 機械工学科では「カリキュラム」と「ものづくり課外活動」との相乗効果による基礎力の養成に注力している。また加工の実際を知ることで設計力も向上するため、技能検定の受験も奨励しており、平成22年度は計11名の学生が合格した。なお合格者のうち5名が「ものづくり課外活動」に参加(下記◎学生フォーミュラ大会チームメンバー / ●ロボット研究会メンバー)しており、与えられた役割を果たすための努力が技術向上に結びついていたと思われる。
- <2級合格 機械工学科1年次生>
  - 佐藤 総志くん(熊本県・翔陽高校出身)
- <3級合格 機械工学科3年次生>
  - ◎高崎 馨くん(佐賀県・唐津工業高校出身)
- <3級合格 機械工学科2年次生>
  - 池田 一馬くん(宮崎県・都城泉ヶ丘高校出身) ●糸田 憲士郎くん(熊本県・天草高校出身)
  - ◎黒田 陽一郎くん(福岡県・柏陵高校出身)
  - 田中 佐和さん(福岡県・北筑高校出身) ●徳永 健くん(大分県・佐伯鶴城高校出身)
  - 林 研人くん(福岡県・伝習館高校出身)
  - 平居 隼くん(福岡県・京都高校出身) ◎水本 大貴くん(高等学校卒業程度認定試験合格者)
- <3級合格 機械工学科1年次生>
  - 酒井 健志くん(熊本県・天草工業高校出身)

### 平成22年度 機械設計技術者3級合格者

- <機械工学科3年次生>
  - 木村 竜二くん(熊本県・玉名高校出身) ●貞包 龍一くん(佐賀県・唐津工業高校出身)
  - 田中 太祥くん(熊本県・九州学院高校出身) ●徳永 規克くん(熊本県・玉名高校出身)
  - 松下 哲也くん(福岡県・久留米高校出身) ●光永 慎也くん(熊本県・熊本北高校出身)
  - 光永 直人くん(熊本県・人吉高校出身)
- <機械工学科4年次生>
  - 坂本 秀人くん(高知県・高知工業高校出身)
- <大学院 修士課程 機械工学専攻1年次生>
  - 梶山 友孝くん(熊本県・鹿本商工高校出身)

### 情報処理技術者試験レベル4「SC」合格

●情報処理技術者試験・平成22年秋季試験で「情報セキュリティスペシャリスト試験(SC)」に情報学科4年次生の**平良正樹**くん(沖縄県・名護商業高校出身)が合格した。この試験は最上位の「レベル4」に位置しており、学生での合格は少なく、本学始めての快挙となった。



## Photo Scrap\*



佐賀県立宇宙科学館 日本の航空100年記念

## 「飛ぶ～空へ宇宙へ～」に

宇宙航空システム工学科  
学生製作の

## 人力飛行機を展示

2010年10月23日から2011年1月30日の間、佐賀県立宇宙科学館で開催された日本の航空100年記念「飛ぶ～空へ宇宙へ～」に宇宙航空システム工学科の学生が製作した人力プロペラ飛行機「ARSP-110」が展示されました。写真と共に搬入の様子をレポートします。

●当日は大学へ8時に集合、各パーツを運送業者のトラックに積み込む。

●メンバーは約2時間半、バスに揺られて佐賀県立宇宙科学館へ。

●バスに積んでいた設置に必要な道具類を搬入、パーツを積んだトラックを待つ。

●パーツを積んだトラックが到着。全員で搬入開始。

●当間健康チームリーダーの指示により飛行機の組み立てを行う。

●組み立ては1時間30分ほどで完了。

●主翼翼幅はなんと30m! 重さはたったの35kg!!

●パーツ毎に班がわかる。

●飛行機を館内天井から吊る作業は専門の業者の方々にお任せし、メンバーは進捗を見守ることに。

これで完成です!

●宇宙科学館前、全員で撮った記念写真。

### 卒業生直撃 interview

自分で設計した製品をつけた車が町を走っている姿を早く見たい

アイシン精機株式会社 第1車体系技術部 外装グループ 外装第1チーム

●須上 公一朗さん

2009年3月 工学部 機械工学科卒業 / 熊本県 天草工業高校出身

現在の勤務先と主な仕事の内容を教えてください

●アイシン精機株式会社(愛知県)第1車体系技術部の外装グループ外装第1チームに勤務しています。仕事は「号口開発」という、2~3年後の次期車型に対して、主にドアまわり樹脂意匠部品(センターピラガーニッシュやベルトモールなど)の設計です。

学生時代の思い出を教えてください

●大学時代は週6日ほどバイトしていました。朝までバイトをして寝ずに大学に行ったり、体にはとても良くないことをしていましたが、キツイとは思っていませんでした(笑)。やっていたバイトがとても面白く、さまざまな人と出会い、いろんな話ができ、よい社会勉強になりました。でも、もう少し友だちと遊んでおけばよかったと後悔しています。

大学時代に学んだことが今どのように活かされていますか

●小中高ずっと野球をしていました。大学時代は社会人のチームに入りましたが、自分とは異なる価値観をもつ人々との交流を通じてコミュニケーション能力を身につけ、誰とでも柔軟に話ができるようになりました。仕事に就いて気づいたのは「頭がよい=仕事ができる」ではないということ。私は頭はよくないですが、毎朝しっかり挨拶をする、人の話は相手の目を見てしっかり聞く、といったコミュニケーションを大切にしていると、仕事で困ったことがあっても必ず誰か助けてくれます。これからも人と人の繋がりを大切にします。



崇城大に学ぶ後輩たちへ

アドバイスやメッセージをお願いします

●大学の4年間でやりたい自分をしっかり見つけてください。人生は良いようにも、悪いようにもなると思います。もちろん良いほうがいいですね。そのためにも大学時代はさまざまな価値観をもつ人と出会い、視野を広げてください。きっと何か見えてくるはずです。

将来の夢を教えてください

●自分で設計した製品をつけた車が町を走っている姿を早く見たいです。また将来の夢としては、外装部品の機能に満足かつデザイン性に飛び抜けている製品を開発、設計することです。

### 卒業生直撃 interview

鹿児島大学大学院での腫瘍細胞浸潤研究を経て技術系職員(薬剤師)として鹿児島県庁へ

鹿児島大学 大学院 医歯学総合研究科 薬物動態制御学分野

※同大学院は2011年3月修了し4月より鹿児島県庁に技術系職員(薬剤師)として勤務

●神野 真幸さん

2009年3月 薬学部 薬学科(4年制課程)卒業 / 鹿児島県 甲南高校出身

大学院生としての研究内容を教えてください

●鹿児島大学大学院の医歯学総合研究科薬物動態制御学分野に所属していました。実験は生化学の教室である同大学院の医化学分野でさせていただき、主にグリオーマという脳腫瘍の細胞株を使用し、細胞浸潤のメカニズムを解析していました。この2年間の集大成として「Cancer Science」という雑誌に論文が掲載されることが決まっています。

学生時代の思い出を教えてください

●熊本は九州の中央に位置しており、友人たちと宮崎のシーガイアや大分の別府、鹿児島など、いろんな県に遊びに行くことができました。また20歳からお酒を飲めるようになり、友人やサークルの仲間たちと「ばかなこと」をしたのも今では良い思い出です。

大学時代に学んだことが今どのように活かされていますか

●生化学の基礎実験では、学部時代に習った生化学の知識や実習の経験がとても役立ちました。RNA干渉やウェスタンブロットなど、生化学の基本原則や手技を学習していたおかげで、実際に行う時もイメージしやすく、

抵抗なく実験を行えました。また薬理学の研究室で訓練した論理的思考が、研究で行き詰った時の突破口となりました。

崇城大に学ぶ後輩たちへ

アドバイスやメッセージをお願いします

●何でも話せる友人を大切にしてください。大学の友人たちとは住む場所が離れた今も時折、連絡を取りあい、集まったり、刺激を受けたりしています。また薬学部は4年制から6年制となり、何かと就職に関して不安や迷いがあると思いますが、数年先の自分の将来像を見据えて就職活動を頑張ってください。

将来の夢を教えてください

●この3月で鹿児島大学大学院の修士課程を修了、鹿児島県庁に就職します。技術系職員(薬剤師)には県立病院や保健所、業務行政など様々な業務が存在します。多方面で活躍できる薬剤師になることが私の夢……というより「目標」です。



前列中央が神野さん





# THE HISTORY OF A PROFESSOR

教授に歴史あり……シリーズ16

## 副作用のない制がん剤の開発と臨床応用の第一人者としての歴史は1975年の第1期生たちと共に始まる



●1期生たち(当時29歳) ●2期生たち ●3期生たち ●4期生たち ●6期生たち ●7期生たち(当時35歳) ●8期生たち ●9期生たち ●10期生たち ●11期生たち(当時40歳) ●12期生たち ●13期生たち ●14期生たち ●15期生たち ●教授昇進祝賀会(当時44歳) ●16期生たち ●17期生たち ●18期生たち ●19期生たち ●20期生たち ●21期生たち ●22期生たち ●23期生たち ●24期生たち ●25期生たち ●26期生たち ●27期生たち ●28期生たち ●29期生たち ●30期生たち ●31期生たち ●上岡研究室創設30周年記念祝賀会 ●60歳の誕生日に研究室のスタッフや学生たちと

＜上岡研究室卒業生・修了生人数＞

- 卒業生(1975年度～2010年度)488名
- 修士修了生(1991年度～2010年度)127名
- 博士修了生(博士号取得者／1993年度～2010年度)28名

＜在学生へのメッセージ＞

人を育てる、と言うより人が育つのを助けることが教育だと思います。学生の皆さんが主人公です。自らの意志で努力し、成長する中で創造性や人間性を身につけてください。21世紀は生命科学の時代です!!

# SOJO

## INTERNATIONAL EXCHANGES

国際交流だより

### 留学生2名が「熊本城ボランティアガイド養成講座」を修了

●2010年12月11日、「熊本城ボランティアガイド養成講座」の閉講式が行われました。これは熊本に在住している留学生に熊本城のガイド役になってもらい、母国からの観光客に熊本城を案内してもらうことを目的とする講座。主催する熊本留学生交流推進会議が県内の大学・高等専門学校に在籍している留学生に参加を呼びかけ、20名の留学生が参加しました。

●閉講式では熊本大学国際化推進センターの鳥居修一教授から修了証書の授与があり、本学からは大学院修士課程・応用化学専攻2010年度2年次生の楊宗論さん(中国・山西省太原市出身)と大学院修士課程・デザイン専攻2010年度2年次生の李奕樺さん(中国・広西自治区桂林市出身)が参加しました。



### 留学生2名が「熊本地区留学生シンポジウム」に参加

●2010年12月18日、「熊本地区留学生シンポジウム」が開催されました。熊本県内の高等教育機関でつくる熊本留学生交流推進会議が主催となり、「留学生と語ろう!世界の食文化～私の思う日本の餅(Mochi)」をテーマとするシンポジウムです。

●第1部は県内の大学・高等専門学校に在籍している留学生6名による「餅」に関する発表があり、パネルディスカッションのパネリストとして情報学科2010年度2年次生のブ・ゴク・チェンくん(ベトナム・ハノイ出身)が参加しました。



チェンくんによる発表

●第2部では餅つきとティー・パーティが開催され、留学生たちは大学生や高校生、地域住民の方々と一緒に餅つきを体験しました。ティー・パーティでは5カ国(アラブ首長国連邦・インドネシア・中国・フィリピン・ベトナム)のお茶が振る舞われ、スタッフとして情報学科2010年度4年次生のトラン・ハイ・エンさん(ベトナム・ハノイ出身)、ボランティアスタッフとして生物生命学部・応用生命科学学科2010年度4年次生の堂本将太くん(熊本県・八代農業高校出身)が参加しました。



堂本くん

## CLUBS' ACTIVITY

### 生薬や運動による健康の維持など未病対策のための勉強会です

●メンバーは活動内容により変動しますが約20名。月1回、薬学部棟で活動しています。会のモットーは「楽しく・自分で考える・実践しながら学ぶ」です。

●主な活動内容は漢方の基本を知り、個人の体質や環境に適した身近な食材、生薬や運動による健康の維持など、未病対策のための勉強会です。そのため薬学科の講義で学んだ内容を実践に実践することができ、それが楽しさになっています。

●これまで薬草餃子や薬草カレーづくり、アロマ石鹸づくり、薬性・薬味を知るための漢方薬・生薬の試食会、漢方薬の処方を決めるのに役立つ経絡(つぼ)学習などを行ってきました。

●なお漢方研究会では随時にメンバーを募集しています。他学部の方でも参加できます。薬学や漢方に関する知識がなくてもOKです。少しでも興味をもった人はぜひ、私たちのHPを見てください!!

### 崇城漢方研究会

学年代表 / 薬学部 薬学科2010年度4年次生 藤川 典子さん 熊本県 八代高校出身



クコの実茶

クコの実

「ツボ」についての講義

崇城 漢方研究会 検索

私がこの本に出会ったのはアメリカ・ニューヨークに駐在していた14年ほど前の頃です。著者に関してはジャーナリストのイメージが強く、作家の印象はあまりありませんでした。しかし、著者の自叙伝であるこの本を読んでみると「ジャーナリストとして活躍するルーツはこれだ!!」と思いました。20ドル札1枚を握り締め、単独渡米するシーンやアメリカ特有の強い者がすべての大学での決闘。最後には、友人と中近東某国の油田掘削の権利を得て莫大な財産を……となっており、その件にはJFK空港に石油を売りに行ったことも書かれています。

なお私はかつてJFK空港で働いており、その頃からOGDENという企業が空港の燃料業者として1社独占しており、それは現在も同様です。私の渡米する前には、著者が燃料業者としてかなりの商魂でアメリカ本土を席捲していたことが想像

落合信彦 著  
アメリカよ!  
あめりかよ!

写真の一冊は  
集英社



この“絶大な成功体験”から  
夢を追う素晴らしさと  
痛快さを味わってください

●工学部 宇宙航空システム工学科  
専修課程航空整備士コース / 喜川一矢 教授

されます。もしかしたらOGDEN社は彼が創ったのかも知れません。なぜ、こんなに印象が残ったのかは本書が「絶大な成功体験」であることです。またアメリカは「Dreams come true!」や「Make miracles」が現実であることを感じさせてくれる国でもあります。ぜひとも、この本を読んでいただき、夢を追う素晴らしさと痛快さを味わってください。

## 心響の冊

## This is my favorite book Series@12

紹介書籍は図書館でもクローズアップ!!

デザインには多面的な要素があります。それはスタイリングであったり、特定の人のためのものであったり、使いやすさなど、多くの要件を考慮してデザインは行われます。ここで2冊の本を紹介したのは、デザインを行うには「芸術的側面と科学的側面」があるからです。ブルーノ・ムナリーは「私たちの日用品と、私たちの住んでいる環境とが、一つの芸術作品として相応しいものとなったとき、

デザインの必要性と目的が人々のより良い生活のためであることを感じさせてくれる2冊です

●芸術学部 デザイン学科 / 飯田晴彦 准教授

そのときこそ、私たちはバランスのとれた生活を達成したといえることができるであろう」といっています。この本が書かれたのが1973年、パソコンなどないアナログの時代です。



ブルーノ・ムナリー 著  
小山清男 訳  
芸術としての  
デザイン

写真の一冊は  
ダヴィット社

D.A.ノーマン 著  
野島久雄 訳  
誰のための  
デザイン?

写真の一冊は  
新曜社

それから17年後、デジタル時代となり、D.A.ノーマンはデザインを認知科学、心理学から評価をしています。使いにくいモノに対する多くの批判に対して、私を含め多くのデザイナーが真摯に受け止めなければなりません。この2冊はアプローチこそ異なりますが、デザインの必要性、その目的が、人々のより良い生活のためであることを感じさせてくれます。

## LOCAL AREA COOPERATION

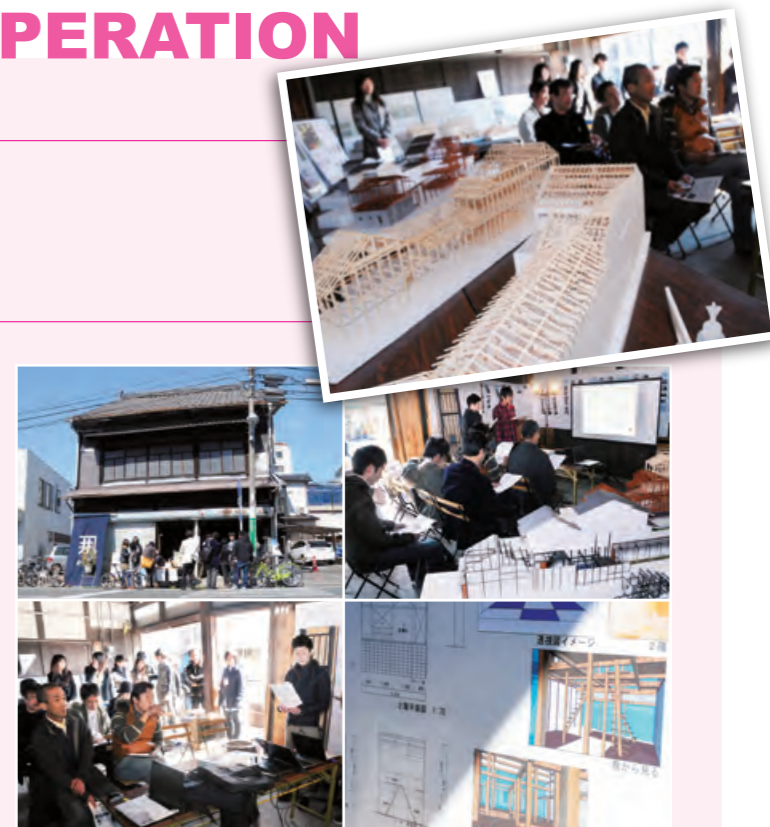
地域との連携

### 建築学科生が3年次後期の課題として 熊本県各地域をフィールドテーマに 「まちづくり演習」を展開

建築学科では3年次後期の課題として、熊本県各地域をテーマとした「まちづくり演習」を行っており、2010年度は熊本市古町地区の町家の再生に取り組みました。昨年度は隣の新町地区で同様の課題を行い、町の人々から予想以上の好評と共に「これから何年か連続して取り組んでもらえないか」との要望をいただきました。

これらの過程では実際に町屋に住んでいる方々に仮想施主になっていただき、学生たちはいくつかのグループにわかれて各施主の住宅を実測、現状の図面と模型を作成します。さらに町屋再生のための計画を行うのですが、施主の要望に沿った案と学生の独自案、2種類の計画を図面と模型で提示します。その際、学生には施主の隠れた要望を引き出すトレーニングも課されることになります。

新町古町地区では2011年3月11日から13日の3日間、町屋再生のためのインスタレーションと町屋めぐりを企画。学生たちの作品展示と発表会が行われました。



## 崇城大学「専門学校」からのお知らせ

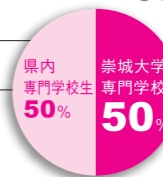
## SOJO COLLEGE INFORMATION

### 基本情報技術者試験 実績

年度	県内専門学校生 合格者数	本校 合格者数	占有率
2010	22名	11名	50%
2009	25名	12名	48%
2008	28名	11名	39%

●2010年度秋期は11名が合格しました。県内専門学校の合格者数は22名であり、その50%を本校生が占めました。これで本年も県内専門学校の中で最多合格者数という結果を示しました。

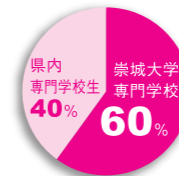
●また合格者は全員1年次生であり、入学後わずか半年での合格に他なりません。本校情報システムコースでは入学から半年後の10月に合格するためのカリキュラムを組み、基本情報技術者試験を受験します。この試験は経済産業大臣が認定している国家資格であり、情報分野の企業においても重要視されます。



### 応用情報技術者試験 実績

年度	県内専門学校生 合格者数	本校 合格者数
2010	5名	3名
2009	7名	2名

●2009年度に2名、2010年度に3名が合格しました。2010年度の県内専門学校生の合格者は計5名です。この試験は基本情報技術者試験の上位検定試験であり、学生での合格は難しいとされており、この結果は県内専門学校の中でもトップランクです。



## 崇城大学 専門学校

〒860-0806 熊本市花畑町10番25号 TEL.096-323-1122  
URL: <http://www.sojo-c.ac.jp/> E-mail: [info@sojo-c.ac.jp](mailto:info@sojo-c.ac.jp)